

公共施設予約／収納管理システムの開発
(住民向けサービス提供基盤の開発、調査研究)

本開発事業は、平成２２年度自転車等機械工業補振興助事業により実施した事業です。

１．事業概要および目的

現状使用している施設予約システムが既存商用パッケージを基にしたものであるため、システム利用料の他に、運用保守費用等によってコストが非常に高くなっている。

また、共同利用型のシステムをどの施設でも利用出来る状況にはなっておらず、その場合は利用に関して煩雑な手続きや何度も施設へ足を運ぶ必要があり、施設の利用に対して敷居が高くなってしまっている。

そのため、施設利用者および施設管理者双方に対して利便性の高いシステムを提供する必要があり、本事業ではこの点に主眼を置いた施設予約システムの開発を目的とした。

２．事業の実施内容

本事業では、前述した施設利用者および施設管理者双方に対して利便性の高いシステムを提供するため、以下の機能を実装したシステムの開発を実施した。

(1) 利用料金の回数券化

利用者にとっては、料金を支払うために施設へ足を運ぶ必要がなくなる。
管理者にとっては、現金を取り扱う窓口を限定することが出来る。

(2) システムのASP化

システム利用に係る費用は利用料だけとなり、今まで発生していたサーバ等の機器料金が不要となる。

３．本事業実施による成果

システム導入により、下記効果が期待出来る。

<定性的効果>

ア．地域住民の利便性の向上

- ・Web上で予約・収納が実施可能となり、施設へ足を運ぶ回数が減る。
- ・現行システムよりWeb予約できる施設が増加し、よりリアルタイム

に空き状況の確認や申し込みが可能。

- ・携帯電話からのアクセスが可能となる為、外出中でも空き状況の確認や申込が可能。

イ. 地域住民へのサービスの向上

- ・予約・収納情報を管理・実施する職員の手間を省くことにより、本来の目的であるサービスの向上への時間・労力を割くことが可能。

<定量的効果>

ウ. システム利用者の増加、及び、施設利用予約数の増加

- ・現行システムよりWeb予約できる施設が増加し、よりリアルタイムに空き状況の確認や申し込みが可能。
- ・携帯電話からのアクセスが可能となる為、外出中でも空き状況の確認や申込が可能。
- ・新システム導入の告知による新規ユーザの獲得が見込まれる。

エ. より広域の自治体や地域に対して導入・活用して頂ける。

- ・LAMP（Linux・Apache・MySQL・PHP）でのシステム開発、及びホスティングサービスによるサーバの導入により、システム開発に掛かるコストの低減が可能。
- ・ASPサービス・SaaSでのシステム提供により、初期導入費用の低減が可能。

4. 本事業の活用状況等

本事業でのシステム開発は、平成23年度より岩倉市にて稼働しており、まずは上記で挙げた成果を実感していただき、他自治体への展開を図りたい。

本システムはASPサービスでの導入としているため、利用料のみの低コストで提供できるメリットがあるため、自治体側のメリットを打ち出しつつ、愛知・岐阜・三重の近隣にて同様に導入できるよう努めたい。